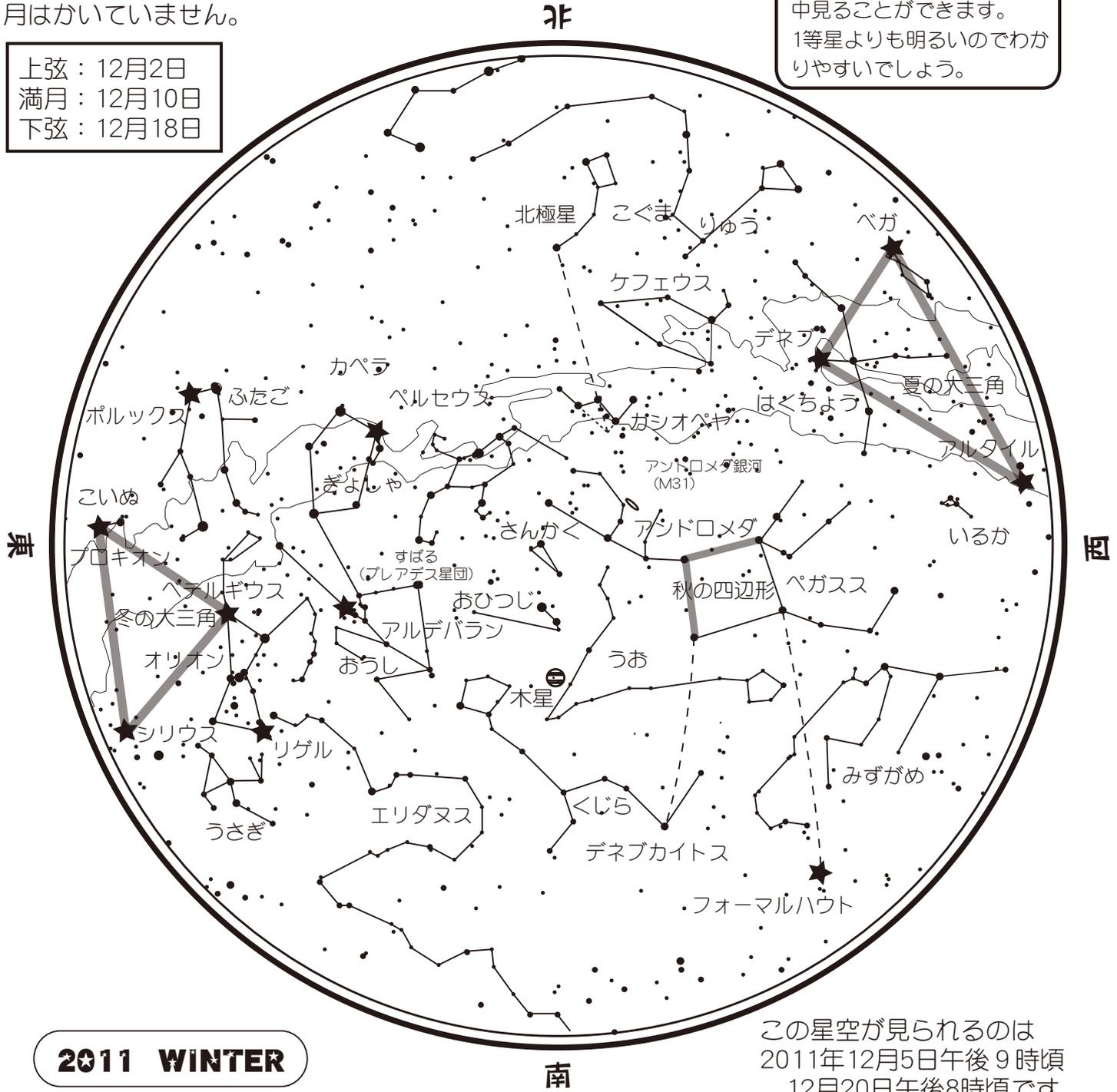


★ 姫路で見る12月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう☆
夜の8~9時ごろ天頂(頭の
上)付近に見え、ほぼ一晩
中見ることができます。
1等星よりも明るいのでわか
りやすいでしょう。

上弦：12月2日
満月：12月10日
下弦：12月18日



2011 WINTER

この星空が見られるのは
2011年12月5日午後9時頃
12月20日午後8時頃です。

12月に入ると、星空では秋の星座と冬の星座の両方が楽しめます。
西の空に見える秋の四辺形は、ペガサス座の胴体部分にあたり、西側の辺を南の空にのぼすと、秋の星空でたったひとつの一等星であるフォーマルハウトが見つかります。今度は、ペガサス座のおへそにあたる星から、天頂付近の明るい星を線でつなぐと、アンドロメダ座ができあがります。そばには、W字形のカシオペア座と、人の形をしたペルセウス座が見えます。さらに、秋の四辺形の東側の辺を南の空にのぼすと、二等星のデネブカイトスが目じるしのくじら座が見つかります。
東の空に目を向けると、リボンのような形が目じるしのオリオン座を始め、明るい一等星をもつ冬の星座たちが輝きます。オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、地平線近くに見えるシリウスを線でつなぐと、冬の大きな三角ができあがります。
また、西の空地平線近くには夏の大きな三角が見えるので、地平線まで見渡せる場所では、冬と夏の大きな三角を同時に見ることができます。
晴れた日は、風邪を引かないように暖かい服装で、星空を眺めてみましょう。